「空飛ぶクルマ」運航実現に向けた和歌山県版ロードマップ・アクションプラン



	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)		2025年度 令和7年度)	2026年度~2029年度 (令和8~11年度)	2030年度以降 (令和12年度)以降
和歌山県の構想	(現在~カ	導入期 (阪・関西万博まで)			成長期 大阪・関西万博〜2030年ま	発展期 で) (2030年以降)
実証実験に向けた 体制・環境の整備	アクションプラン1 実証実験に向けた体制 実証実験に向けた環境		環境整備の実現・社会大阪・問			空飛ぶクルマの運航実現に より、 ・観光誘客促進 ・近隣府県とのネットワーク
社会受容性の向上	<u>アクションプラン2</u> 県民・事業者などに対	する情報発信		•		
和歌山 ステークホルダー との連携	アクションプラン3 役割の明確化 県内外の自治体との連携 新たな産業創出に向けた事業者との連携		云的受容水準の	関西 万博		の拡大 ・医療搬送、災害救助等での実用化 ・空飛ぶクルマ離発着場を拠点としたまちづくり ・新たなビジネスの創出 など地方創生に取り組んでいきます!
離着陸場の適地調査	アクションプラン4 離着陸場の設置可能性 飛行ルート等の検討	設置可能性調査				
先端技術等との連携						

和歌山県内での空飛ぶクルマ運航実現に向け、5つのアクションプランを掲げ、推進を図ります。本アクションプランでは、主に2025年大阪・関西万博までに取り組むべきアクションを記しております。